

-----7月27日-----

今週のアウトルック (7/27~7/31)

なんとも煮え切らない展開が続いています。

ドル円、クロス円ともにタイミング的には一度円高方向への限界を試しに行きたい時期のように思います。

ところがNYダウの予想外の高騰によってリスク選考の動きが強まり、円安へ動かざる負えない状況が続いているように感じます。

また、今週は再び米国債の大量の入札を控え、米ドルに対する信認を試すような動きになるかもしれません。

ドル円は今週も煮え切らない動きが継続する可能性が高いように思います。NYダウが急落するようなことがない限り円安への圧力はかかります。ただ、米国債の入札懸念が続く限り95円を超えての円安は進みづらいように思います。

反対に、もしNYダウが一転して急落するようなことがあれば、90円を目指す円高も起こりうるように思います。予想レンジとしては90円から95円を考えています。

クロス円もNYダウによる円安圧力がかかりそうです。ただ、NYダウに関してはそろそろ・・・？という時期には来ているように思います。もし、9500ドル、1万ドルを目指すような状況が起こるようであれば、それはバブルと考え、その波に乗ることは危険すぎるように考えます。レンジ的には133円から139円あたりで考えています。

英国も再び景気回復への期待が高まっているように思います。英国のマクロ指標が予想外に良いとされていますが、回復されていると考えられるボーダーラインは相変わらず超えることができていないように感じます。期待に答えられる材料が提示されていると考えるにはまだ早いように思います。レンジ的には150円から160円を考えています。

今週も過剰流動性にNYダウは躍らせる状況が続きそうです。為替はどこまでその動きについて行こうとするのか、それとも独自の動きが出てくるのか注目したいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。